

品質カイゼン室の

# 花のソコが知りたい！**クルクマ編**

## そもそもクルクマって何??

夏の切花として活躍するクルクマ。独特な形をし、他の花とは違う雰囲気を持っています。

- ・クルクマって何が語源？
- ・根っこはどうなっているの？

なぞ多きクルクマ・・・そんなクルクマのソコをお伝えしたいと思います！

### 基本情報

分類：ショウガ科 ウコン属

原産地：熱帯アジア（タイ北部・ラオス・カンボジア等）

学名：*Curcuma alismatifolia*

※クルクマ・シャロームは *Curcuma alismatifolia* の俗称

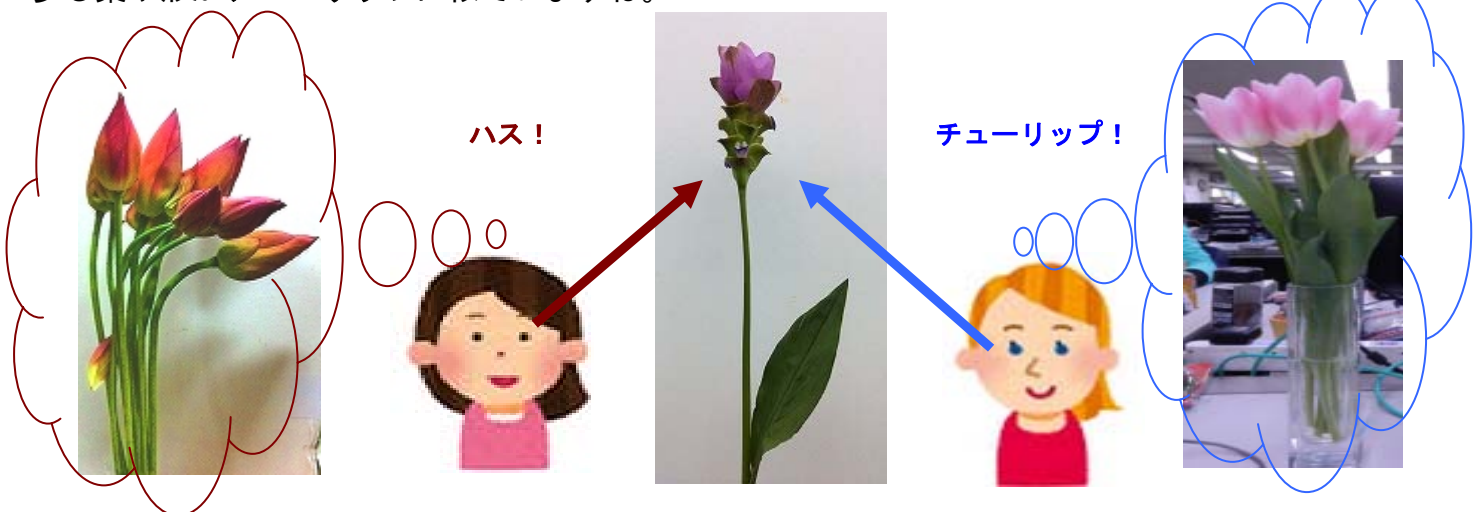


*Curcuma alismatifolia*  
クルクマ シャローム

*Curcuma alismatifolia* のクルクマ

欧米では<sup>タイの</sup>Siam Tulipや<sup>夏の</sup>Summer Tulipとも呼ばれています。

少し葉や形がチューリップに似ていますね。



一方、日本では1990年に開催された大阪花万博でシャロームが展示され人気がでました。

その姿がハスの花に似ていることから仏花として使用されています。

現在では婚礼のブーケにも使われ、夏場大活躍なお花なのです！

## クルクマってどういう意味？

クルクマはアラビア語でウコンを意味します。

そのウコンの学名は *Curcuma longa*

漢方薬や調味料として有名な『ウコン』

実はクルクマはウコンと同じ仲間なんです。

では切花として利用されているクルクマの根はどうなっているのでしょうか？



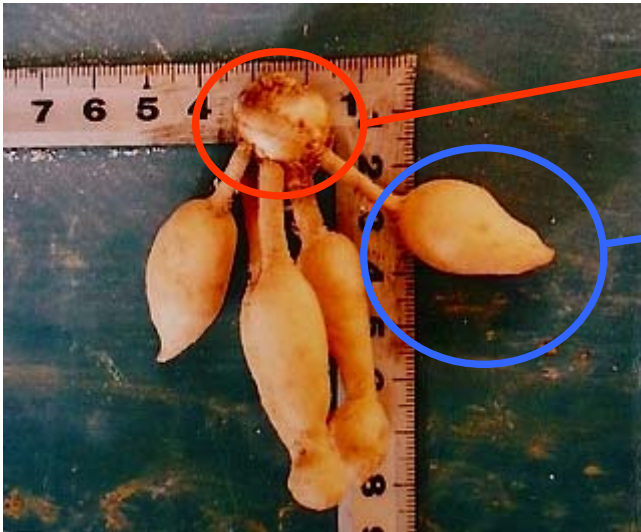
*Curcuma longa*

ウコン

## クルクマの球根

下の写真がクルクマの球根です。

詳しく説明させていただきますと . . . . .



ここから**芽**が出てきます。

茎が肥大化して球状になったもの

### ミルクタンク（水球）

芽が成長するために必要な栄養素が蓄えられています。

この**ミルクタンク**がたくさんついているクルクマは、その分栄養素を蓄えているので生育が良いです。

## クルクマ栽培暦

クルクマの栽培方法は現在、普通栽培、加温催芽による早出し栽培、据え置き栽培や電照を利用した栽培など多くの方法があります。

今回は5月から9月まで出荷がある普通栽培、加温催芽による栽培方法をご紹介します。

### 普通栽培

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
定植												
収穫												
球根堀上げ												

クルクマは熱帯アジア原産の植物のため、10℃以下の温度にさらされると球根が腐ってしまいます。普通栽培の場合、3月ごろ定植し、4月～5月に発芽、6月下旬から開花・収穫します。

発芽において高温を求める植物なので、4月下旬、5月上旬から収穫するためには1月に30℃を保った環境で催芽させ、加温環境下で栽培します。それが加温催芽による早出し栽培です。

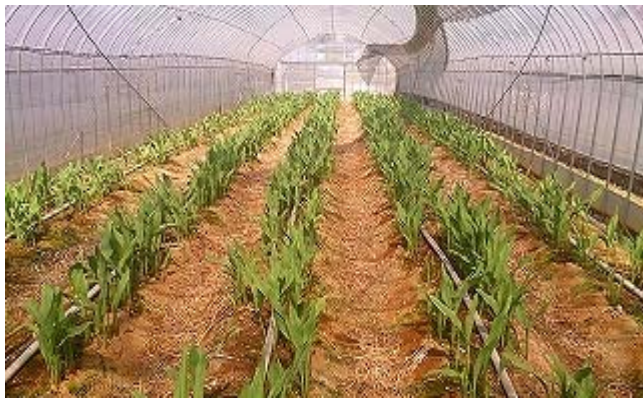
## 加温催芽による早出し栽培

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
定植												
収穫												
球根堀上げ												
加温												
催芽												

それでは圃場の様子を見てみましょう！

### クルクマ圃場風景

生育適正温度は25℃～30℃



定植後



すくすく育ち・・・

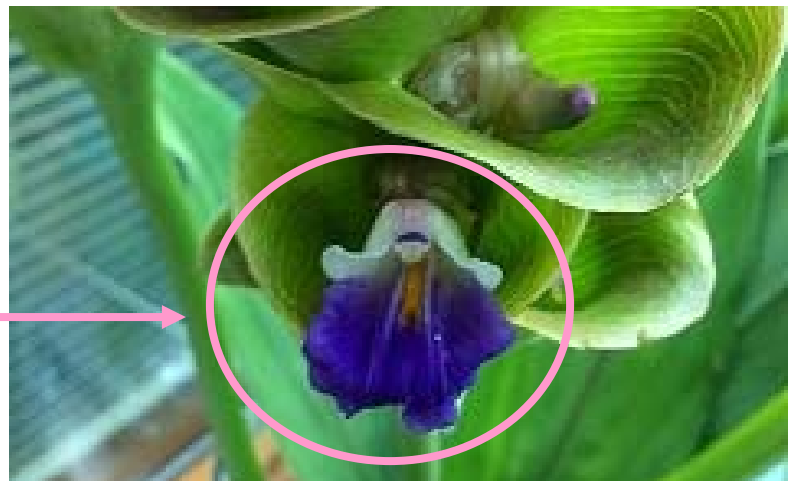


収穫

### クルクマの花

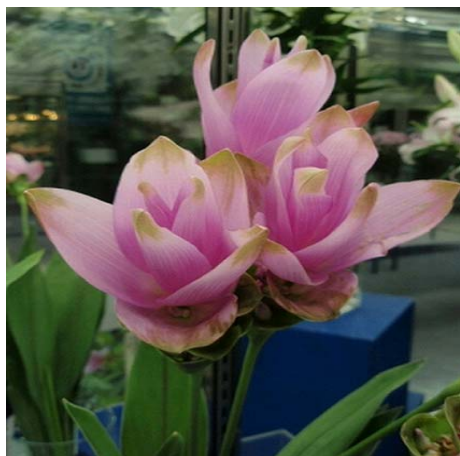
クルクマのピンクに見える部分が花のように考えられますが、実は違います。

シャロームにおいてピンクに色づいているのは葉が変化した<sup>ほうよう</sup>苞葉  
 さてさて、本当のお花は・・・



クルクマをズームインすると・・・紫色の小さなお花がありました！  
 そう！これこそがクルクマの花にあたるもの。  
 この小花が下から2段目まで咲いたとき収穫する時になるのです。

## クルクマ品種



シャローム



ピンクパール



ルビーチューリップ



ロータスホワイト



シャロームシロ



エメラルドパコダ



プーディンプリンセス

市場をくるとめぐるだけでこんなにたくさんのクルクマに出会えました！

クルクマの主な産地は

**静岡県** **福岡県** **鹿児島県**

**愛知県** **熊本県** **千葉県**

**原産地タイからも入荷していますよ。**

夏の彩りにクルクマをぜひ飾ってください♪

### 参考文献

- ・宇田明 桐生進著 「花屋さんが知っておきたい花の小事典」
- ・荒保宏著 「花の王国」 薬用植物

### 画像提供

- ・JA 静岡経済連様

品質カイゼン室

